

こまえ

平成22年(2010年)7月
通巻第50号

図書館だより

ホームページアドレス <http://www.library.komae.tokyo.jp>
モバイル版アドレス <http://mb.library.komae.tokyo.jp>



—今号のトピックス—

- ◇2010年は、国民読書年
- ◇音訳者養成講習会
- ◇「絵手紙」が楽しめます!
- ◇22年度図書館協議会
- ◇読書調査室ってなあに?
- ◇児童行事実技講座
- ◇図書館で会える絵本
- ◇今後の行事予定



[第1回音訳者養成講習会(5月19日)の様子]

2010年は、国民読書年

館長 森田 修次

今年になって、雑誌の表紙などで右下のロゴマークをみかけること
がありませんか。2010年を「国民読書年」とすることは、2008年6月、国会の衆参両院における「国民読書年に関する決議」により定められました。

この決議は、国民の活字離れを改善し、心豊かな社会の実現につなげていこうとするものです。近年の読書に対する国民意識の高まりの機運をさらに発展させるために、政治家が協力して、国をあげてあらゆる努力を重ねることを宣言しています。キャッチフレーズは「じゃあ、読もう。」です。

皆さまもこの機会にぜひ本を手に取り、「心」豊かにする「読書」の魅力を感じてみませんか?

図書館でもさまざまに取り組みで、皆さまの「じゃあ、読もう。」のお手伝いをいたします。ご来館を職員一同お待ちしております。

※音訳版(カセットテープ・デージー)もあります。ご希望の方は中央図書館にお問い合わせください。

2010
国民読書年

「音訳者養成講習会」が始まりました

目的：図書館の録音図書を作成する音訳者を新規養成する。

対象：新規希望者、図書の音訳未経験者（今年度の募集は終了）

音訳とは？

視覚に障がいがある人、またはその他の理由で、文字情報の取得が困難な状況にある人のために、道具としての声を使って、墨字（印刷・書かれた文字）によるすべての情報を音に変える作業のことです。

書かれていることの意味を変えずに、音声に変換するのが『音訳』です。「書かれていること」というと、すぐ文字を思いうかべますが、視覚で情報を伝えるのは文字だけではありません。写真・イラスト・グラフ・挿し絵・数式・図・表・記号なども情報として大切なものです。障がいをもった人が求めている文字情報は「毎日の生活に欠かせない事柄」です。例えば、市町村の広報・学校や町内会のお知らせ・家電製品の取扱説明書・仕事に必要な専門書・教科書・参考書・パソコンのマニュアルなどさまざまです。

今年度の受講希望者は44名の応募があり、5月12日に試験（筆記と面接）を行い23名の受講生が決まりました。講習会においては、音訳の技術と共に「相手の身になって」「必要なときに」「必要なものを」「必要な人に」「必要な形で」提供できるよう専門講師の指導を受けています。

年間計画			
月日	回数	内容	講師
5月19日	第1回	講習内容説明・基本的ルール	磯部誠子先生 (元ニッポン放送アナウンサー)
6月16日	第2回	発声・発音について	
7/21~12/15	第3~7回	基礎学習	
1月18日	第8回	読みの調べ方について	図書館職員
2月16日	第9回	デジタル録音について	粕江朗読ボランティア・デイジーはるか
3月16日	第10回	復習・質問	磯部誠子先生

図書館でも「絵手紙」が楽しめます！

絵手紙の展示と一緒に、関連の図書を集めたミニコーナーが貸出カウンター横にできました。近日、日本絵手紙協会刊行の「月刊絵手紙」を購読開始する予定です。あわせてご利用ください。



22年度の図書館協議会

狛江市立図書館協議会は、図書館法第14条の規定に基づき、狛江市立図書館設置条例によって置かれる機関です。図書館の運営に関し、図書館長の諮問に^{しもん}応ずるとともに、図書館サービスについて図書館長に意見を述べる役割を担っています。委員の任期は2年間で平成21年4月1日から平成23年3月31日です。

協議会は年6回開催され、今年度は、図書館長の諮問を受けて「図書館サービス向上に向けた狛江市立図書館の開館日・開館時間のあり方について」協議を行い、今年12月を目途に答申が出される予定です。

[図書館協議会委員名簿]

	氏名	選出区分
委員長	長田 輝男	学識経験者
副委員長	丸山 英子	狛江第三小学校図書館 学校司書
委員	豊崎 克彦	学識経験者
委員	小川 美篤	公募委員
委員	杉本 圭治	公募委員
委員	田淵 晶子	狛江おはなしの会「くーすけ」代表
委員	山田 裕	緑野小学校長
委員	山本 和喜子	狛江朗読ボランティアグループ

読書調査室ってなあに？



読書調査室は、平たく言えば、調べものをするための部屋です。では、調べもので使うとは、どういった時でしょうか？

例えば、NHKで放映中の「竜馬伝」の主人公の血液型を知りたい！と思ったとします。さて、この時代に血液型がわかっていたのでしょうか？

キーワードは「坂本竜馬」と「血液型」です。まず『日本歴史大事典』（河出書房新社）で竜馬の生没年（1835-1867）を調べます。次に『世界大百科事典』（平凡社）の「血液型の歴史」の項目を見ると、1901年に「K・ラントシュタイナーがABO式血液型を発見」とありました。よって、竜馬が生きていた時代には、血液型がまだ発見されていないことが判明します。

このように百科事典は、あらゆる調べものに対応するすぐれものです。どうぞお気軽に手に取って開いてみてください。

読書調査室は中学生以上の方が入室できます。参考書等の持ち込みによる自習室ではありません。7・8月は混み合いますので、利用上のマナーを守って、互いに譲り合ってください。

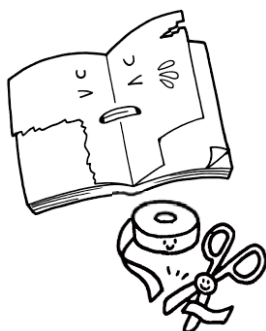
図書館こんな時は・・・

[読書調査室の様子]



平成22年度 児童行事实技講座

図書館ボランティアのための 製本・修理講座 を実施します！



図書館では、破損した本の補修を手伝ってくださるボランティアを募集します。そこで、ボランティアをして頂ける方を対象とした、製本・修理の実技講座を開催しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

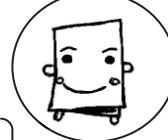
日時：平成22年9月22日(水)・10月1日(金)・6日(水)の3回連続
講師：小畑信夫先生（図書館メディア・研究所代表、NPO図書館の学校理事）
定員：20人（実際に活動できる方で3回とも受講可能な方を優先、多数抽選）

※詳細は、8月下旬頃の館内掲示・チラシ等をご覧ください

親子読書推進事業 「図書館で会える絵本」

中央図書館が選んだ6歳までに読んでほしい絵本を紹介した冊子ができました。掲載絵本はすべて貸出ができますので、まだ読んでいない絵本があればもちろんのこと、何歳になってもくりかえし読んでください。

冊子をご希望の方は、図書カウンターにお申し出ください。部数に限りがありますので、無くなり次第、配布を終了します。



〔本文で使用している右のマークの元になったイラストを描いてくれた山下詩織さん(9歳)〕

今後の行事予定

宮澤賢治の世界

～朗読を聴く～

朗読家のおつきゆきえさんに、おはなしの出前に来ていただきます。

日時：9月18日(土)
14:00～

対象：高校生～大人向き



おはなしおばさんの玉手箱

～藤田浩子さんによるおはなし会～

今年も小道具を使った楽しいおはなしやわらべうたなどをお楽しみに！

日時：10月16日(土)
(時間未定)

対象：乳幼児向き

(一声社より)



- 7月)
7～9日 職場体験(狛江第三中2年生)
22・23・30日 子ども一日図書館員
29日 科学あそび(小学生)

- 8月)
4日 夏休みとくべつおはなし会

- 9月)
18日 朗読を聴く会「宮澤賢治の世界」
22日 児童行事実技講座(第1回)

- 10月)
1・6日 児童行事実技講座(第2・3回)
19日 文学散歩(三鷹・世田谷文学館)

※各行事の詳細は、図書館ホームページや館内のお知らせ・「広報こまえ」等をご確認ください

編集後記

館報「図書館だより」の記念すべき創刊50号です。そして今年には図書館開館33周年目にあたります。節目の館報はいかがでしたか？ 次回刊行は深秋頃の予定です。お楽しみに！ 図書館へ数年ぶりに戻り、館報の編集に携われてよかったです。(HN)

〈編集・発行〉

平成22年7月7日発行
狛江市立中央図書館
和泉本町1-1-5
TEL 03-3488-4414